

「基礎・基本」定着状況調査について

広島市立舟入小学校
校長 花本 和彦

広島県内の小学校5年生全員を対象にした「基礎・基本」定着状況調査が6月12日に実施され、その結果が先日公表されました。

本校では、教科・生活に関する調査を分析し、今後の指導に役立てていきたいと思っております。

1. 国語について 通過率 県平均 75.8% 市平均 74.1% 舟入小平均 68.0%

	通過率	解答の状況	今後の指導の重点
聞くこと	県 77.7% 市 75.1% 本校 68.0%	○話の内容をメモすることができていますが、話の構成を考えながら要点をメモすることは苦手なようです。	○聞きながら話の構成を意識するように、ナンバリングをしたり、見出しをつけたりするメモの工夫を指導したいと思います。
書くこと	県 56.4% 市 55.9% 本校 49.8%	○要点を落とさずに1文を2文に分けたり、文末を敬体にそろえて書いたりすることができない児童がいました。 ○はがきの表書きなど、形式を意識して書くことは難しかったようです。	○要点をまとめる経験を單元ごとに積むとともに、文末は、敬体・常体にそろえて書くように指導していきます。 ○行事や季節の節目に、はがきや封書の書き方を繰り返し指導します。
読むこと	県 80.7% 市 79.9% 本校 71.0%	○段落相互の関係を考え、文章を正しく読み取ることが苦手な児童が多かったようです。	○説明的な文章において、指示語の示すものを考えさせて、文章の構成をつかむ力を育てていきたいと思えます。
言語事項	県 78.3% 市 75.9% 本校 69.7%	○ローマ字については書くことの方が苦手なようです。 ○主語と述語などの文の構成関係をとらえていない児童が多かったようです。	○パソコンのローマ字入力を帯時間を利用して反復練習をさせ、定着を図ります。 ○日頃から音読指導のときに主語と述語を明確に指導していきます。

2. 算数について 通過率 県平均 75.0% 市平均 72.9% 舟入小平均 72.7%

	通過率	解答の状況	今後の指導の重点
数と計算	県 84.6% 市 83.5% 本校 81.7%	○基本的な四則計算については、よくできていました。小数の減法では、位をそろえて計算することが苦手な児童が少しいます。	○今後ともドリル学習や演習を継続し、復習的な内容の家庭学習などを出し、計算力を伸ばしていきたいと思えます。
量と測定	県 73.7% 市 71.0% 本校 72.9%	○重さや長さの量感が身に付いている児童が増えています。 ○時間の量的な感覚が身に付いていない児童が多いようです。	○今後とも授業の中で、具体物を操作する活動を継続していきます。 ○時間と時刻の区別や時間の経過を意識して生活するようにします。
図形	県 58.7% 市 55.0% 本校 59.1%	○垂直やひし形の定義と性質の理解が不十分であり、定義の意味を理解していても、算数的用語を使って解答を記述することが苦手な児童がいるようです。	○形の特徴をとらえることのできる算数的活動を積極的に取り入れます。また、算数的用語を使用した説明や発表を増やしていきます。
数量関係	県 72.7% 市 70.7% 本校 68.2%	○伴って変わる数量の関係を○や△を使った式に表すことは苦手なようでした。 ○乗法の結合法則を使って計算の工夫をする問題の意味理解が不十分で、無回答や誤答が多く見られました。	○「未知の数量」や「変数を表す記号」として□を用いる経験を積みせるようにします。 ○分配・結合法則などを用いることの良さに気付かせ、反復練習を繰り返します。

※共通すること

- 文章問題を最後まで読み切る力、習慣を付けるように指導します。
- 帯タイムや家庭学習などで忘れたところに取り組み、繰り返し練習して定着を図ります。
- 普段から丁寧な文字を書くように粘り強く指導します。

3. 生活と学習に関する意識・実態について

調査結果から見られる子供の姿	重点的に取り組む項目
<p>【生活などに関する調査】</p> <p>○ほとんどの児童が基本的な生活習慣が確立されています。</p> <p>○努力すれば、自分は大抵のことができると思い、将来の夢や目標を持って、学校へ行くのは楽しいと感じている児童が多いようです。</p> <p>○約8割の児童が、新聞やテレビのニュースを見て社会の出来事に関心を持っています。</p> <p>●本を読むことが好きな児童が多いですが、読んだ内容を人に話したり、学習に利用したりする児童が少ないようです。</p> <p>●地域や子ども会の行事にはあまり参加をしていないようです。</p> <p>【学習に関する調査】</p> <p>○学習したことを生活の中で利用して、将来仕事や生活の中で役に立つと思っているようです。</p> <p>○学習を最後までやり遂げ、できた喜びを感じ取っている児童が多いです。また、もっとわかりたいと思いながら学習をしている児童も多いです。</p> <p>○自分と違う意見も受け入れながら、自分の考えを理由をつけ具体的な例をあげながら話すことができます。</p> <p>●授業の予習をすることや、計画を立てて学習を進めることがあまりできていません。</p> <p>【教科の学習】</p> <p>—国語—</p> <p>●漢字などの繰り返し学習をすることを苦手としている児童が多いです。</p> <p>●伝えたいことを中心をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いている児童が少ないようです。</p> <p>—算数—</p> <p>○ほとんどの児童が算数で学んだことが生活の中で役に立つと感じているようです。</p> <p>○自分の考えや解き方と比べながら、友達や先生の説明を聞いています。</p>	<p>○家庭での過ごし方については、生活リズムカレンダーをもとに保護者と協力をしながら、今後とも生活習慣を身に付けさせていきたいと思います。</p> <p>○テレビ視聴、読書、学習、睡眠の時間などについて、家庭でも話をしていただきたいと思います。</p> <p>○家庭学習では、授業の復習が十分にできる内容と量を出し、家庭学習の定着を図りたいと思います。</p> <p>○地域行事などについて、情報を与えると共に、学校からも呼びかけをして参加を促していきたいと思います。</p> <p>○予習や復習の方法の手立てを指導していきたいと思います。</p> <p>○児童に単元や授業の流れなどをつかませ、学校でも計画を立てて学習に取り組むことを指導していき、家庭学習につなげたいと思います。</p> <p>○分かりたいという主体的な気持ちを大切にして、学習に取り組もうとする態度を育てていきたいと思います。</p> <p>○日記指導などを通して、書くことに抵抗感をなくし、手紙を書く取り組みを通して書く喜びを感じさせるようにしたいと思います。</p> <p>○操作活動を取り入れ、図や表を使って自分の考えをしっかりと伝える力を付けていきたいと思います。</p>